

# 竹早中オムニサイエンス部 うしくっぱ祭りでビーズ球の立体模型作りを指導



茨城県牛久市のうしくっぱ祭り実行委員会から、7月25日、26日に開催された第28回うしくっぱ祭り「遊びのコーナー」で子ども達への『ビーズ球の立体模型作り体験』の担当を依頼されました。







25日(土)はオムニサイエンス部員19名、26日(日)は13名(1~3年生)が、1学期にマスターしたビーズ編みの立体模型の中から3種類の立体(12球の立方体、30球の正12面体、90球のサッカーボール型の準正多面体)の制作指導を行いました。

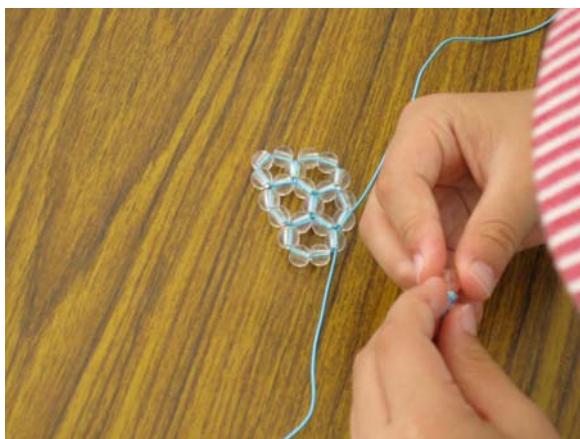
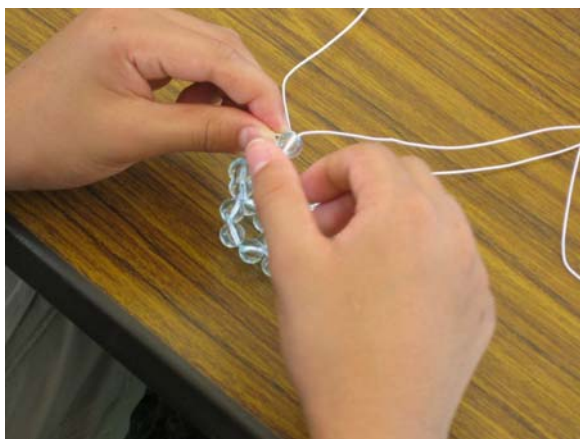
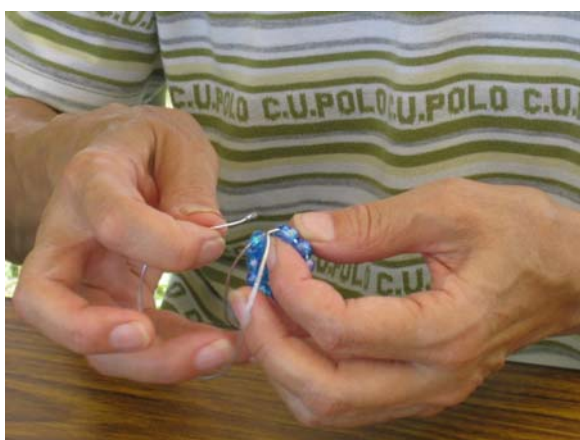
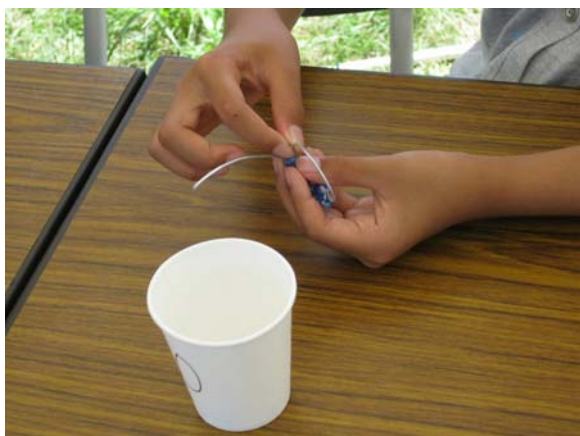


2日間で子どもから大人の方まで、約140名近くの方にそれぞれに作りたい模型を聞いて丁寧に教えていました。非常に大勢の方に来ていただいたので、テーブルが一杯になり、横の草の上に座り込んで熱心に作っている方の姿も見られました。(竹早中学生は私服で参加をしますので、手元が見えないとどちらが指導員か分かりにくいのですが。)





ちょっと制作途中の様子をのぞいてみましょう。みなさん、大変熱心に作っています。





予め準備した約200セットの材料の内150セットは1日目になりました。2日目の26日は、大作の90球の模型を作りたいという人が多かったようです。その都度、ゴム紐と好きなビーズを選んで材料を準備して制作に取りかかりました。教える生徒の数が足りなくなる場面も多く、順番を待っていただくなど、来ていただいた方のご協力もありがたかったです。

部員たちも、2日間で約9時間ほとんど休む間もなく教えて、最後は疲れた様子でしたが満足した顔つきで活動を終えることができました。こうした機会があれば、またぜひ模型作りを教えてみたいと思います。(2009/07/27)



[1日目の終了後]



[2日目の終了後. 牛久駅にて]